



第147期
株主レポート

2012年3月1日から2013年2月28日まで

2013年タカシマヤバラのカレンダーより
フローリスト/ジョルジュ・フランソワ
バラ/トウール・スロートレック

 Takashimaya

株主のみなさまへ



平素は格別のご高配を賜り、御礼申しあげます。このたび第147期株主レポートが整いましたのでお届けいたします。

ふる たず 故きを温ねて新しきを知る

4月20日から世田谷美術館で、「暮らしと美術と高島屋」展が開催されております。「文化とは何か?」とあらためて問うてみると、私は人々の暮らし方そのものも文化なのではないかと考えます。文化の発信ということ意識して、それを事業活動と連動させていった場合に、これからの人々の新しい暮らし方をいかに提案していくかということにつながっていきます。こうした高島屋の生活に根付いた伝統、文化、歴史に、「公立」の美術館である世田谷美術館が着目し、第三者の視点でプロデュースをしてくださることは、当社の企業活動を、客観性をもって、社会から再評価していただくための大きなチャンスとなるでしょう。

「温故知新」、すなわち「故きを温ねて

新しきを知る」。この言葉はまさに高島屋のアーカイヴス活動を端的に表しております。アーカイヴス活動を一過性のものとして終わらせるのではなく、新しい高島屋への第一歩を踏み出していくためのものとして活用し続けてまいります。

新しい価値を提供し続ける創造的企業へ

今年度、高島屋グループは「新しい価値を提供し続ける創造的企業への変革」を経営目標としております。そこで日本国内においては、お客様にいつでもどこでも当社の商品をお買上げいただく、すなわちオムニチャネルの実現をめざして、ネットと実店舗の融合に取り組んでまいります。これは国内百貨店を強化していくための取り組みでもあります。お客様から支持されるように検証と修正を重ね、いち早く理想の姿を実現していくことで、他社には負けない強みと競争優位性を発揮していきたいと考えております。またグループ

事業においても、百貨店事業との緊密な連携によって新たな高品質サービスを提供し、グループ全体のブランド価値を高めてまいります。

一方、海外においては、昨年12月19日に上海高島屋を開業しました。上海高島屋は1996年に開業した新宿店以来、16年ぶりとなる大型店の出店です。現在、当社はアジアグローバル企業となることをめざし、中国・ASEANの2軸で海外戦略を進めております。世界において存在感を高めていくために、リスクを恐れず挑戦し、日本国内・海外のお客様に新しい価値を提供することに、全員で一丸となって取り組んでまいります。

引き続き株主のみなさまのご支援・ご愛顧のほど、よろしくごお願い申し上げます。

2013年5月
取締役社長 鈴木弘治

アーカイヴス活動の取り組み

高島屋は創業以来の歴史と伝統を見つめなおす、アーカイヴス活動に取り組んでおります。現在、「暮らしと美術と高島屋」展をはじめとする4つの展覧会や、「たかしまやアートウォーキング」を開催しております。

●「たかしまやアートウォーキング」

世田谷美術館
「暮らしと美術と高島屋」展
開館記念
たかしまや
ARTO
WALKING

世田谷美術館主催の「暮らしと美術と高島屋」展が開催中です。会期中は、高島屋日本橋店・横浜店・玉川店でも関連文化催事を開催し、4つの展覧会をご覧いただく「たかしまやアートウォーキング」も実施。“文化の高島屋”を力強く発信してまいります。なお「暮らしと美術と高島屋」展は9月に大阪店と高島屋史料館(大阪)を巡回する予定です。



世田谷美術館
「暮らしと美術と高島屋」展
ポスター

「暮らしと美術と高島屋」展

4/20[土]-6/23[日] 世田谷美術館
9/18[水]-9/30[月] 大阪店・高島屋史料館(大阪)

創業百二十年記念 龍村平藏「時」を織る。

4/25[木]-5/6[月・振休] 日本橋店(会期終了)
5/24[金]-6/4[火] 横浜店

美の競演 京都画壇と神坂雪佳

~100年の時を超えて~京都市美術館・細見美術館コレクションより
4/24[水]-5/6[月・振休] 横浜店(会期終了)
5/9[木]-5/20[月] 京都店(会期終了)
5/29[水]-6/10[月] 日本橋店

高島屋史料館が語る 日本美術の輝き

4/24[水]-5/12[日] 玉川高島屋S・C(会期終了)



「たかしまやアートウォーキング」ポスター

アートウオーキンググッズ

4つの展覧会及び、日本橋店・新宿店にて、アートウオーキンググッズコーナーを開設。
世田谷美術館に出展される高島屋史料館所蔵品などをモチーフとしたグッズが登場いたします。



〈高島屋×一澤信三郎帆布〉
コラボレーション手さげかばん



山岡白竹堂 婦人扇子



〈にんべん×日本橋薬房×高島屋〉
コラボレーションぬれおかき



「アレタ立に」ローズちゃん人形
(チャリティー販売)

※数量限定品の為、商品完売の際はご容赦下さい。

●「おかげにて一八〇」&「アーカイヴスサイト」

当社のアーカイヴス活動を広く知っていただくため、180年史「おかげにて一八〇」を発行いたしました。
また、当社ホームページに「タカシマヤアーカイヴスサイト」をオープンいたしました。



「おかげにて一八〇」



「タカシマヤアーカイヴスサイト」トップページ

2013年度トピックス リニューアル情報

横浜店は、全館リニューアル完成に向け、引き続き婦人ファッションや食料品の改装を進めてまいります。また、大阪店では、南海会館ビル建替えに伴う、一部売場部分の返却に合わせ、婦人服・スポーツ・ゴルフ等の改装を実施し、営業効率の向上による増収を目指しております。

●横浜店

次世代顧客の支持拡大に向け、3階婦人服フロアに「インターナショナルキャラクターズ」をオープン。また、地域における競合優位性発揮に向けた、賑わいと話題性にあふれる食料品フロアの改装も進めてまいります。

3階 インターナショナルキャラクターズ



●大阪店

戦略ターゲット（25～44歳女性）の支持拡大に向け、3階キャリアフロアをリニューアル、新規ブランドも導入し、「Kawaii Stage」をオープン、ヤングキャリアの買い回り性を高めております。また5階スポーツ・ゴルフでは、スポーツグッズの自主編集コーナーや情報発信スポットの新設、レディスウエアの拡充をおこなっております。

3階 Kawaii Stage



様々な取り組み

グループ各店におきましては、各地域のお客様のニーズにお応えすることにより、店舗の活性化を図ってまいります。また、お買物の利便性向上を目指し、店頭販売とネット販売の融合を推進してまいります。



ABCクッキングスタジオ(イメージ)

●大宮店改装

大宮店の改装を、立川店で実施した店舗構造改革をモデルとして進めてまいります。書店やクッキングスタジオなど、お客様からの支持の高いテナント誘致による、店舗の多機能化と集客力向上により、利益体質の改善に努めてまいります。



移動販売車「ローズちゃん号」イメージイラスト

●米子店 移動販売スタート

米子高島屋では、過疎化・高齢化が進む中山間地域等の買物困難地域への移動販売をスタートいたしました。「ご近所のコミュニティ作り」「高齢化社会の見守り」などの役割を同時に果たし、地域の課題解決に向けても取り組んでまいります。



セレクトスクエアトップページ

●店舗とネットの相互利用促進

‘お客様の欲しいモノを欲しいトキにお届けすること’を目指し、昨年、子会社化した「セレクトスクエア」の持つノウハウと運営基盤を活用した収益拡大に努めてまいります。また、ネットを通じての来店促進にも取り組んでまいります。

2013年度トピックス 国内グループ事業

国内グループ事業は、百貨店との連携を強化しタカシマヤブランド価値の向上を図ります。グループ各社が持つノウハウや強みを結集・活用することで総合力を高め、お客様の多様なニーズにお応えするとともに事業拡大につなげてまいります。

●東神開発

国内ショッピングセンター（SC）においては、百貨店と専門店との一体運営により利便性と魅力度の向上を図り、地域のお客様に繰り返しご利用いただけるSCを目指します。また、街づくりの視点からSC周辺開発を推進し、収益拡大につなげてまいります。

流山おおたかの森SCハナミズキテラスイメージ
(今秋フルオープン予定)



●高島屋スペースクリエイツ

今後ニーズの拡大が見込まれる住宅リフォームに対応するため、百貨店リビング売場と連携し、確かな技術にもとづく上質な住宅リフォームを提案してまいります。また、従来の建装事業においては、企画・設計から施工までを総合的にプロデュースする企画提案型営業を強化し受注拡大を図ります。

住宅リフォームブランド『ふぁーすと暮らす』



海外事業

海外事業は中国+ASEAN二軸推進による営業力強化を目指してまいります。開業20周年を迎えるシンガポール高島屋・SCは圧倒的な地域一番店の堅持を、昨年12月に開業した上海高島屋は収益力を強化し、早期に経営基盤を確立してまいります。

●上海高島屋

昨年12月に開業した上海高島屋は、認知度向上と固定客づくりを進めるとともに、地域のお客様の声を活かすことで、「上質な商品とサービスをフルラインで提供する上質生活百貨店」の確立に努めてまいります。

[2012年12月19日オープン

売場面積:約40,000㎡ 地下1階～地上7階]

上海高島屋外観



●シンガポール高島屋・SC

開業20周年を契機に婦人雑貨・紳士服を中心とした売場改装や売場拡大により、品揃えの強化を図ります。あわせて利便性の向上や接客サービスのレベルアップを進め、周辺地域からのお客様にもご満足いただけるASEANナンバー1百貨店を目指してまいります。

シンガポール高島屋・SC外観



高島屋グループ長期プラン

高島屋グループでは、「こころ潤う豊かな暮らしをお客様とともに創造し続ける、グローバルな小売企業グループ」を目指してまいります。長期プランの策定にあたっては、大きく3つの事業グループに分け、各々以下のような基本戦略を推進、今回は2017年度の数値目標を設定、全社一丸となって、その必達に努めてまいります。

1. 国内百貨店事業：「地域密着施策」「オムニチャネル」「構造改革」を推進
2. 国内グループ事業：百貨店事業とのシナジーの最大発揮
3. 海外事業：中国・ASEANを2軸に多店舗化を推進

2017年度(平成29年度)をターゲットとした数値目標

	2012年度	2017年度
営業収益	8,700億円	9,000億円
営業利益	250億円	400億円
営業利益率	3.1%	4.4%
ROE(※)	5.2%	5.8%
自己資本比率	41.7%	50.9%
有利子負債	1,000億円	500億円

※ ROE(%) = 当期純利益 / 自己資本(期首・期末平均) × 100

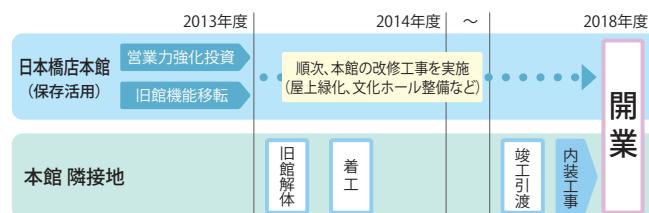
今後の成長戦略

●日本橋店再開発計画

日本橋店は、2011年12月に決定の都市計画に基づき、東神開発を主体として‘街づくり’の視点から「新・都市型SC」を構築してまいります。2014年春の着工、2018年度中の開業を目指し、本年4月、再開発組合が設立されました。

投資額：約150億円（=増床部分及び本館の内装費）

売場面積：約62,000㎡（約12,000㎡の増床）



日本橋再開発全体イメージ 中央手前が日本橋店



●大型複合施設開発計画 「サイゴンセンター1期・2期」への 事業参画計画

シンガポールの大手デベロッパー・ケッペルランド社を事業パートナーに、ベトナム・ホーチミン市で2015年開業予定の大型複合施設開発プロジェクトに参画いたします。今夏には、百貨店現地法人を設立予定で、いよいよ店舗づくりがスタートいたします。

敷地面積：11,084㎡ 延床面積：約181,800㎡

商業面積：約55,000㎡（うち百貨店：約15,000㎡） 2015年開業予定

サイゴンセンター外観イメージ



1 連結業績は増収増益

国内百貨店の震災影響に対する反動及び大阪店の改装効果持続に加え、東神開発や高島屋スペースクリエイツ等の子会社の収益増もあり、連結営業収益は前年比+122億円の増収となりました。

連結営業利益は増収による利益増を主因として、前年比+44億円の増益。また、円安の進行による為替差益増等により、連結経常利益は同+55億円、連結当期純利益は同+56億円の増益を達成しました。

2 連結営業収益は計画未達も、利益は計画達成

国内百貨店で改装等の営業施策の効果が充分発揮されず、△58億円の計画未達となった影響が大きく、連結営業収益は計画比△42億円となりました。

一方、業務の見直しによる効率化を進め、販売管理費を計画比△29億円追加削減した結果、連結営業利益は同+5億円、連結経常利益は為替差益の増等も加わり同+24億円、連結当期純利益は、同+30億円の計画超過となりました。

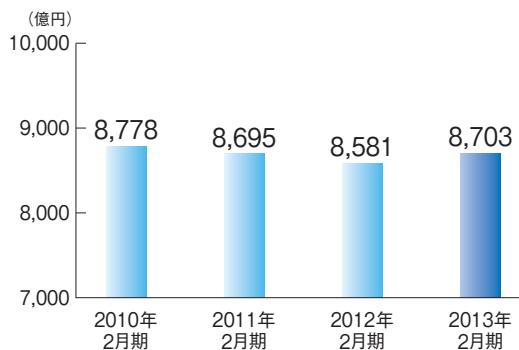
3 子会社は引き続き順調に伸長

不動産業の東神開発をはじめ、金融業の高島屋クレジット、建装事業の高島屋スペースクリエイツ等の主要子会社が順調に業績を伸ばし、国内百貨店を除く連結子会社全体で前年比+65億円の増収、同+29億円の営業増益となりました(連結消去を含む)。

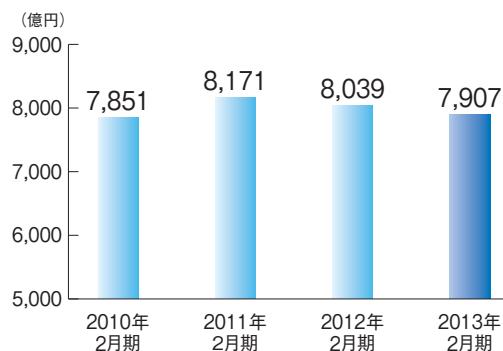
※今期決算に関する詳細は、当社ホームページ<http://www.takashimaya.co.jp/>から、「企業情報」を選択し、その中の「決算短信・四半期業績」より「決算説明会資料」をご参照ください。

連結業績

営業収益

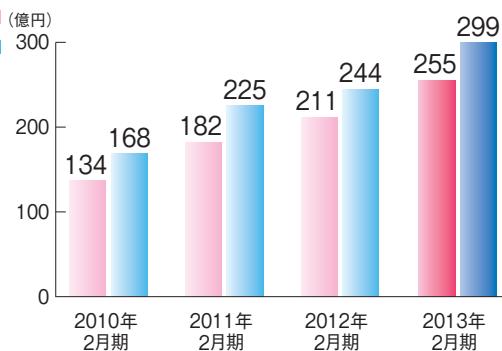


総資産

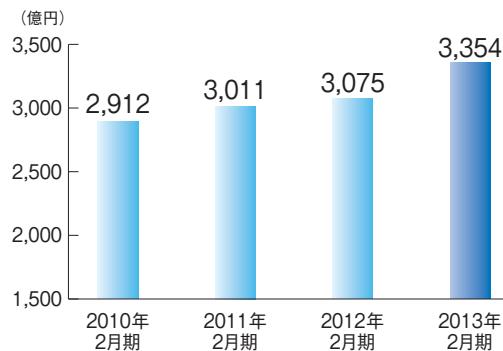


営業利益

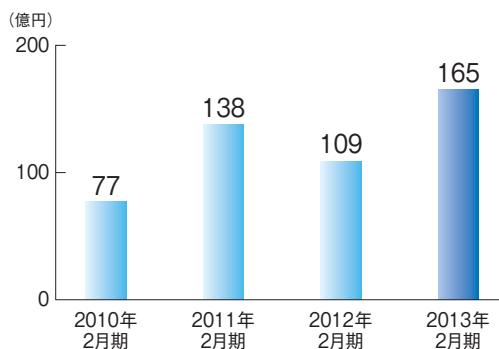
経常利益



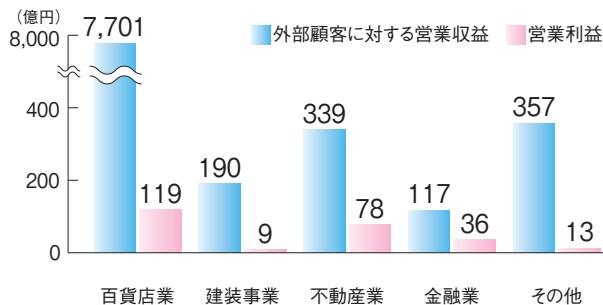
純資産



当期純利益

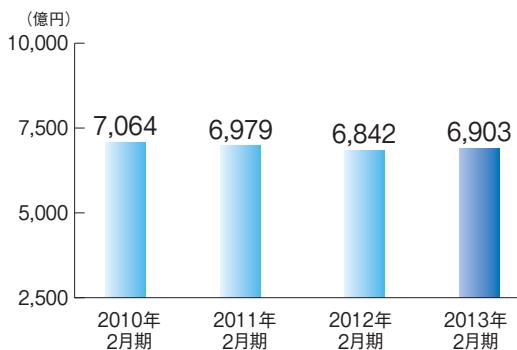


セグメント情報



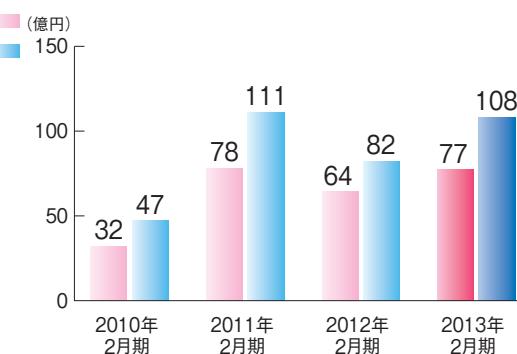
単体業績

営業収益

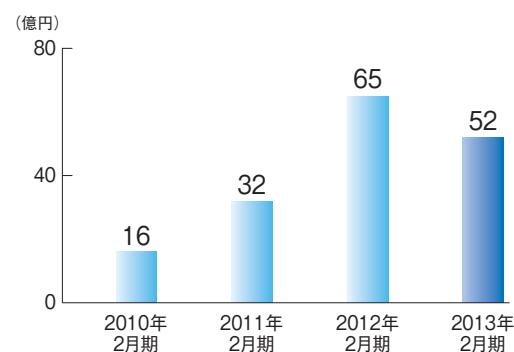


営業利益

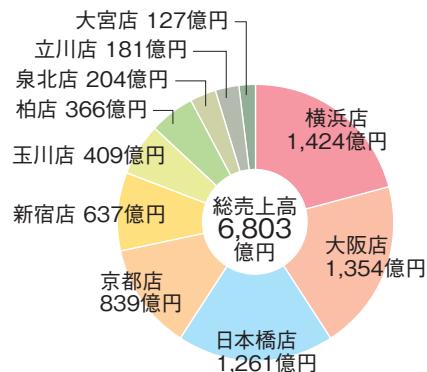
経常利益



当期純利益



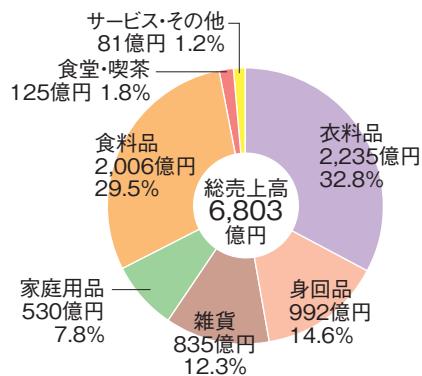
店別売上高 (2013年2月期)



注:1.大阪店には堺店・和歌山店を、京都店には洛西店を、横浜店には港南台店を含めております。

注:2.法人事業部およびクロスメディア事業部の売上高は、それぞれ所在する地区の各店に含めております。

商品別売上シェア (2013年2月期)



注:円グラフの%は全体に占める構成比

収支計画

2014年2月期 連結収支計画 (2013年3月1日から2014年2月28日まで)

		営業収益 (売上高)		営業利益		経常利益		当期純利益	
通 期		億円	%	億円	%	億円	%	億円	%
		8,970	3.1	280	9.9	300	0.4	167	1.0
		[8,394	2.9]						

(注) 営業収益(売上高)、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年増減率

〈ご参考〉 2014年2月期 単体収支計画 (2013年3月1日から2014年2月28日まで)

		営業収益 (売上高)		営業利益		経常利益		当期純利益	
通 期		億円	%	億円	%	億円	%	億円	%
		7,000	1.4	95	22.8	110	1.5	53	2.3
		[6,902	1.5]						

(注) 営業収益(売上高)、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年増減率

年間配当金について

当社では、将来に備え経営基盤を強化することにより安定的な配当水準を維持することを基本スタンスとしながら、業績や経営環境を総合的に勘案し、株主の皆様への利益還元を図ってまいります。

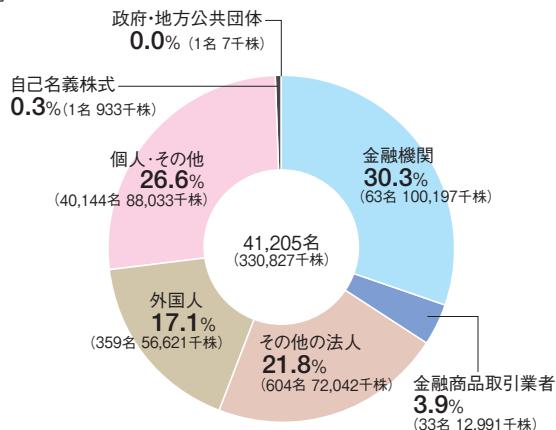
この方針のもと、当期の1株当たり年間配当金につきましては、10円とさせていただきます。

株式情報

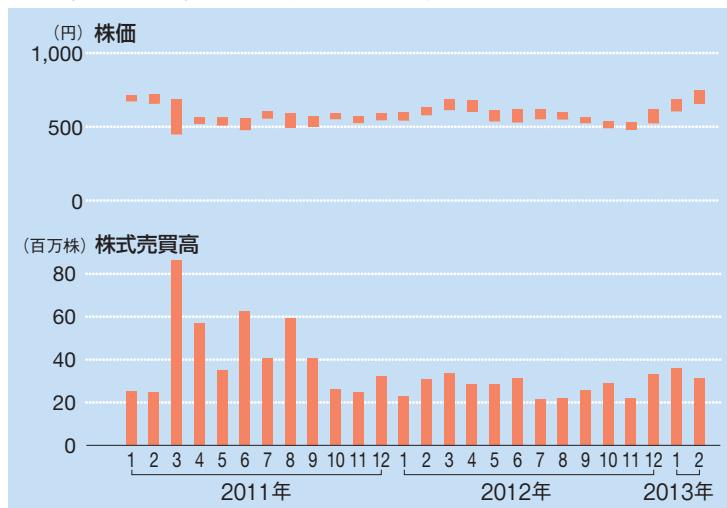
株式数および株主数 (2013年2月28日現在)

発行可能株式総数	600,000,000株
発行済株式総数	330,827,625株
株主数	41,205名

株式分布状況 所有者別



株価（高値・安値）および株式売買高の推移



役員

(2013年5月21日現在)

代表取締役 取締役社長	鈴木 弘 治
代表取締役 専務取締役	山口 裕
代表取締役 専務取締役	松本 靖彦
代表取締役 常務取締役	増山 裕
常務取締役	木本 茂
常務取締役	秋山 弘昭
取締役	肥塚 見春
社外取締役	中島 馨
社外取締役	大宅 映子
社外取締役	宮村 智
常勤監査役	山辺 一三男
常勤監査役	監物 進
社外監査役	滝井 繁男
社外監査役	武藤 英二

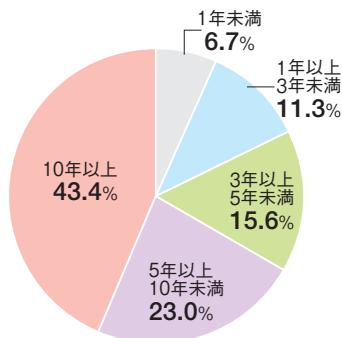
上席執行役員	小島 一彦
執行役員	栗野 光章
執行役員	堀口 建治
執行役員	松井 隆昌
執行役員	山下 恭史
執行役員	國澤 勝
執行役員	横田 隆司
執行役員	亀岡 恒方
執行役員	高山 俊三
執行役員	村田 善郎
執行役員	中野 奈津美

株主アンケートのご報告

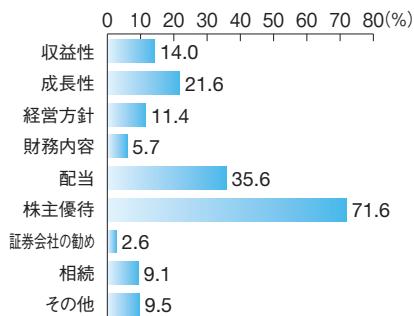
昨年11月に実施いたしましたアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

アンケートの回収率は13.2%でした。株主のみなさまから頂戴した貴重な情報を、今後のIR活動にできる限り反映させてまいりたいと存じます。

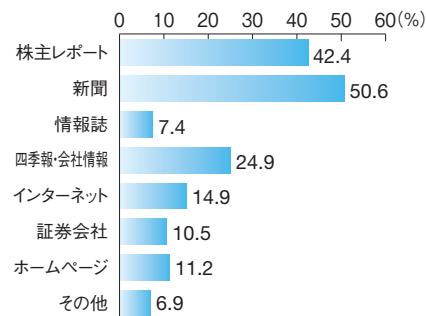
Q 当社株式の保有年数はどのくらいですか。



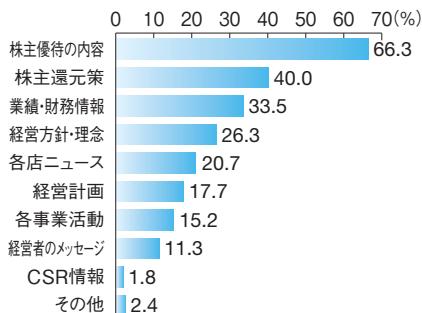
Q 当社の株式を保有された理由をお聞かせください。(複数可)



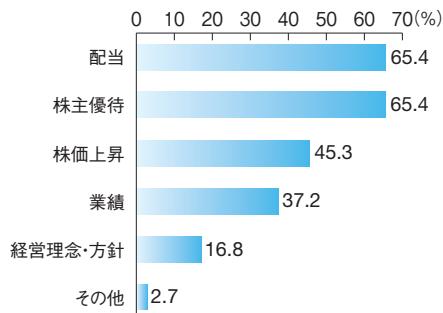
Q 当社に関する情報入手手段は何ですか。(複数可)



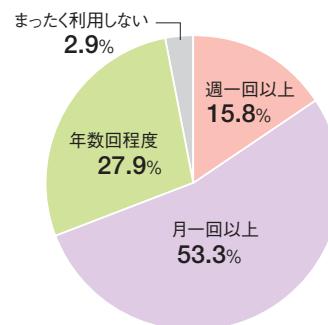
Q 当社について、関心をお持ちの情報は何か。(複数可)



Q 当社以外で、株式を購入される際に重要視されるポイントは何ですか。(複数可)



Q 当社各店のご利用頻度は?



株主優待制度のご案内

毎年2月末日および8月31日現在の株主名簿に記載された1,000株以上ご所有の株主のみなさまに「株主様ご優待カード」を発行いたします。

通信販売カタログの送付をご希望の株主様は、

受付フリーダイヤル ☎ 0120-111-777まで、お申し込みください。



株主様ご優待カードのご案内

ご優待カードのご利用方法が一部変更となりました。

(1) ご利用限度額がなくなります。(カードご到着日より)

従来、ご所有株数ごとに設けておりましたご利用限度額を撤廃し、本カードから上限なしでご利用いただけます。

なお、前期分のご優待カードは、有効期間終了までご利用限度額がございますので、カード到着次第、本カードをご利用ください。

(2) 生鮮食料品が割り引き対象となります。(2013年6月1日より)

従来、対象外であった生鮮食料品(ユアチョイス、ローズセレクショングルメ含む)が割り引き対象となります。

(3) ギフト券(クレジット会社等発行)でのお支払いが可能となります。(2013年6月1日より)

ご優待カードでのご利用時に、従来お使いいただけなかったギフト券(クレジット会社等発行)でのお支払いが出来るようになります。(JCBギフトカード、VJA(VISA)ギフトカード等)

(1) ご優待カードのご利用により、高島屋各店での現金による割り引き対象商品のお買物の際に、10%を割り引きいたします。

現金には、当社の商品券、タカシマヤバラカード、タカシマヤギフトカード、全国百貨店共通商品券、百貨店ギフトカード、友の会お買物カード(いよてつ高島屋除く)、ギフト券(クレジット会社等発行)を含みます。お使いいただけるギフト券の種類は、売場係員におたずねください。

(2) ご優待カードをご持参されない場合は、割り引きいたしかねます。

(3) 商品券、タカシマヤギフトカード、全国百貨店共通商品券、百貨店ギフトカード、ギフト券類、金・銀・白金の地金類、たばこ、食堂(イートインコーナー含む)、喫茶、旅行費用、荷具・送料、修理・加工料、箱代、保険料、ルイ・ヴィトン、ロエベ、ティファニー、ベルルッティ、ブルガリ、カルティエ、エルメス、フォクシー、ディズニーストア、シャネルプティック、シャネルジュエリー、パテック・フィリップ、その他各店で特に指定する売場・商品等については割り引き対象外とさせていただきます。

(4) 代金引き換え配達のご利用方法

通信販売又は売場のお買物で、ご注文の際にご優待カードご利用の旨をお申し出いただいた場合に限り、商品配達時に代金引き換えのお支払い方法で、ご優待カードをご利用いただけます(ただし、いよてつ高島屋を除きます)。

- (5) オンラインストアでのお支払い方法
コンビニエンスストア、ネット銀行、ペイジー（金融機関ATM等）でのお支払いになります。
- (6) 高島屋文化催の無料入場
ご優待カードのご提示により、3名様まで高島屋各店で開催する有料文化催に無料でご入場いただけます。
- (7) ご優待カードはクレジットカードではありません。他のご優待割引、ポイントサービスおよびクレジットカードとの併用はできません。
- (8) ご優待カードは他人に売買等をされた場合は無効といたします。
- (9) ご優待カードを紛失された場合、再発行いたしかねますのでご承知おきください。
- (10) ご優待カードの分割発行は、いたしかねますのでご承知おきください。
- (11) ご優待カードは高温多湿な場所や、磁気を帯びたもの（テレビ・オーディオ機器・冷蔵庫など）の近くに置かないようご注意ください。

取扱店舗

高島屋各店

大阪店、堺店、和歌山店、京都店、洛西店、泉北店、日本橋店、横浜店、港南台店、新宿店、玉川店、立川店、大宮店、柏店、タカシマヤフードメゾンおおたかの森店・新横浜店

岡山高島屋 岐阜高島屋 米子高島屋 高崎高島屋

ジェイアール名古屋高島屋 いよてつ高島屋

タカシマヤ通信販売 高島屋オンラインストア

郵送時期および有効期間

対象株主	郵送時期	有効期間
2月末日現在の株主	5月下旬（定時株主総会終了後）	ご優待カード到着日より同年11月30日まで
8月31日現在の株主	11月中旬	ご優待カード到着日より翌年5月31日まで

お問い合わせ

株式会社高島屋 総務部

〒103-8265 東京都中央区日本橋2丁目4番1号

TEL (03) 3668-7063

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日までの1年
配当金受領株主確定日	2月末日 中間配当を実施するときの株主確定日は、8月31日です。
定時株主総会開催時期	5月
公告方法	電子公告をもって行います。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 (ホームページアドレス http://www.takashimaya.co.jp/)
単元株式数	1,000株
証券コード	8233

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 0120-232-711

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

ホームページアドレス <http://www.takashimaya.co.jp/>

